

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	0	とても広くて開放的
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3	0	3	先生方のことを把握できないので、年度毎に紹介のプリントがあればいい
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	2	0	2	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	1	0	0	
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1	0	0	宿題をしっかりと見てもらえている。痲痺等にも対応してもらえている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもに必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	11	3	0	0	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか。	9	2	0	3	
	4 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	8	2	0	3	自分の子供の希望が強く、そのせいで固定化していないか不安。
	5 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	3	6	
保護者への説明等	1 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1	1	0	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	9	2	2	0	
	3 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※4)等)が行われるか。	5	3	4	1	連絡ノートを通して悩みに対しての助言をもらっています。
	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	3	1	0	
	5 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	6	2	1	定期的ではないが、こちらが希望すれば対応してもらえる。定期的には少し抵抗があるので、その方がありがたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	4	7	あまり聞いたことがないのでわからない。積極的に希望しないので、希望者でいい。
	7 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2	2	4	
	8 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	3	0	1	
	9 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	2	2	3	
	10 個人情報に十分注意しているか	12	0	0	3	

非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	6	2	1	出来れば地震など緊急時の対応等の説明したプリントがあればいい。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	3	1	7	もしかしたら実施されているかもしれないが、具体的に聞いたことがないためわからない。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	11	3	0	0	通所を楽しみに、帰ってから楽しかったことを話してくれる。
	2	事業所の支援に満足しているか	11	4	0	0	自転車の練習ができる場所があるととってもいいと思う。本人と私にとっても、信頼出来て、安心して通所できる。

【チェック項目の欄に関する注釈】

※1 「本人にわかりやすい環境」とは この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※2 「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」とは
児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※3 「活動プログラム」とは
事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※3 「ペアレント・トレーニング」とは
保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を確保することを目標とします。